

# 核被災ドキュメンタリー映画「Death on the Silk road」

中国の核実験が行われた東トルキスタンでは奇病、癌の発生率が中国のほかの地方に比べ高く、核実験の影響によるものと考えられる。1998年の7、8月にイギリスのテレビ局チャンネル4で、「Death on the Silk road」というドキュメンタリーが放送された。

核実験は中国本土に影響が少なくなるよう、東から西に風が吹くときを選んで行われた。このため、ロプノールから西に向けて核生成物質が大量に降下したと考えられる。実際に、口唇口蓋裂ばかり、あるいは大脳未発達の赤ちゃんばかりが生まれる村もあったという。

ウイグル人の癌の発生率は70年代から急増、1990年代以降には中国全国の発病率に比べ30%以上高い数値を示している。中国政府は核実験の被害を公表せず、現地調査も許可しないため、40年以上に渡って被曝者たちは放置されてきている。



母親の胎内で被曝し、口唇口蓋裂で生まれた  
(Death on the Silkroadより)

\* 「Death on the Silk road」の自主上映など計画される方は日本ウイグル協会にご相談ください。

---

## 東トルキスタンの悲劇を知ってください

現在、中華人民共和国の新疆ウイグル自治区と呼ばれる地は、テュルク系民族の住む土地「東トルキスタン」です。

1949年に中国共産党に支配されてから、激しい弾圧が行われています。

### ◎ 民族の文化・歴史・宗教・言語などが消されようとしています

民族の伝統的な文化は破壊され、彼らの信仰するイスラム教の宗教活動や、民族の歴史や文化に関する出版活動などが制限されています。学校教育は中国語で行われ、ウイグル語の追放が進行中です。

### ◎ 大量の漢人が東トルキスタンに移住し、ウイグルの若者が内地へと強制移送されています

中国政府は「少数民族」の同化を目的として、さまざまな民族浄化政策を行っています。そして政府主導の元、大量の漢人の移住を進め、それと平行して数年前からは、若い未婚女性を数万人単位で強制的に中国内地へ移送しています。さらに農村部の若者達も中国沿岸部に移住し、安価な労働力として酷使しています。東トルキスタンにおいてさえ、ウイグル人は少数派へと押しやられようとしています。

### ◎ 地域住民の集まりなどが政府の管理下に置かれています

宗教的・地域的つながりを失った若者たちはモラルを失い、さらにさまざまな抑圧や経済的な差別により、ドラッグに溺れてエイズに罹るなど深刻な社会問題を生んでいます。

### ◎ 資源が強奪されています

東トルキスタンは石油、石炭、レアメタルなどの資源が豊富な地域ですが、全て中国の中央へと吸い上げられ、現地の住民である東トルキスタンの人々にはなんら恩恵をもたらしていません。

「新疆ウイグル自治区」は中国共産党支配以降、名ばかりのウイグル人の主席を置きながらも、実権は漢人が務める共産党書記が握っています。「自治区」とは程遠いのが現状です。

そして、このような残酷な扱いに異議を唱える者は、「分離主義者」、「テロリスト」などとレッテルを貼られ、まともな手続きも経ずに監獄や強制労働所に送られているのです。